解禁	テレビ・ラジオ インターネット	６月１日　１３時００分以降
	新聞	６月１日　夕刊以降

公立高等学校配置計画案（令和４年度（2022年度）～６年度（2024年度））の概要

○　策定の考え方

〈　趣　　旨　〉	高等学校進学希望者数に見合った定員を確保することを基本とし、中卒者数の状況を踏まえ、学校・学科の配置や規模の適正化を図るため、令和４～６年度の計画を策定するとともに、令和７～10年度までの見通しを示す。
〈基本的考え方〉	指針に基づき、教育水準の維持向上などを図る観点から、地域の実情等を考慮しながら、定員調整や再編整備等を行うとともに、多様なタイプの高校づくりを推進。
〈計　画　変　更〉	配置計画を策定した後、急激な中卒者数の増減や生徒の進路動向に大きな変動が生じた場合などは、計画を再検討。

１　令和４年度（2022年度）（令和２年度（2020年度）決定）高校配置計画の変更について

課程	区　　分	学　校　名	計　画　変　更　の　内　容
全日制	地域連携特例校の導入	本　　別 （協力校：帯広柏葉） 標　　津 （協力校：中標津）	○令和４年度（2022年度）募集学級数が１学級の場合に、教育環境の維持向上を図るため、新たに地域連携特例校を導入

２　令和５年度（2023年度）（令和２年度（2020年度）決定）高校配置計画の変更等について

課程	区　　分	学　校　名	計　画　変　更　等　の　内　容
全日制	学級減・学科転換	美　　幌　▲１	○中卒者数の状況や生徒の進路動向、募集定員に対する欠員の状況、学校・学科の配置状況などを勘案し１学級減とするとともに、生産環境科学科及び地域資源応用科を未来農業科に学科転換 （公表済みの計画では、新型コロナウイルス感染症対策の影響に伴う地域の検討状況等を勘案し、令和３年度（2021年度）に決定と表記） 学科転換前：生産環境科学科（１学級）／地域資源応用科（１学級） 学科転換後：未来農業科（１学級）
	再編統合・単位制の導入	新　設　校 （名寄市内）　＋５	○生徒の進路動向や学校・学科の配置状況、地元の要望などを勘案し、普通科４学級及び情報技術科１学級とするとともに、生徒の多様な興味・関心や進路希望等に応じた主体的な学習が可能となるよう、両学科に単位制を導入 ○校舎については、名寄高校校舎を使用 （公表済みの計画では、設置する学科や学級数、使用校舎は引き続き検討と表記） 再編統合前：普通科（３学級）／酪農科学科（１学級）／機械・建築システム科（１学級）／生活文化科（１学級） 再編統合後：普通科（４学級）／情報技術科（１学級）
	募集停止	留　辺　蘂　▲１	○中卒者数の状況、学校規模、募集定員に対する欠員の状況、地元からの進学率などを勘案し、募集停止 （公表済みの計画では、北見市内の高校配置に関する今後の地域における検討状況等を勘案するための期間を置き、令和３年度（2021年度）に決定と表記）

3　令和６年度（2024年度）の高校配置計画案について

課程	区　　分	学　校　名	主　な　計　画　の　内　容
全日制	学　級　減 ▲　6	岩見沢東 ▲1 利尻 ▲1 釧路湖陵 ▲1 釧路明輝 ▲1 釧路商業 ▲1 釧路東 ▲1	○通学区域内の中卒者数を基礎として、生徒の進路動向や学校・学科の配置状況、各学校の在籍状況などを勘案し、学級減

4　地域連携特例校の再編整備の留保について

学　校　名	主　な　計　画　の　内　容
平取、興部、阿寒	○所在市町村をはじめとした地域における、高校の教育機能の維持向上に向けた具体的取組とその効果を勘案し、再編整備を留保

5　新たな特色ある高校の総称について

学　校　名	主　な　計　画　の　内　容
野幌、千歳北陽	○基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着や社会的・職業的自立に向け必要な能力や態度の育成に重点を置く学校として、令和４年度（2022年度）から導入する新たな特色ある高校を「アンビシャススクール」と総称